

事項	ペレニアルライグラスの奨励品種「ヤツユメ（系統名八ヶ岳T-24号）」の特性		
ねらい	本県に適するペレニアルライグラスの品種を選定するため、生育特性及び生産性を調査した結果、「ヤツユメ」が既存の奨励品種と比較して収量性に優れることが明らかとなったので、奨励品種として普及に移す。		
普及する内容	<p>1 来歴</p> <p>「ヤツユメ」は、山梨県酪農試験場において、昭和60年から収量性、耐病性等の優良20栄養系を多交配して育成した選抜基礎集団から選抜された。育成系統名は「八ヶ岳T-24号」としたが、その後、「ヤツユメ」で品種登録を行った。本品種は平成28年から販売が予定されている。</p> <p>2 特性の概要（標準品種「ヤツユタカ」との対比）</p> <p>(1) 発芽の良否は同程度で良好である。</p> <p>(2) 定着時草勢は同程度で良好である。</p> <p>(3) 越冬性は同程度である。</p> <p>(4) 早春の草勢は同程度である。</p> <p>(5) 越夏性は同程度である。</p> <p>(6) 秋の草勢は同程度である。</p> <p>(7) 草丈はやや高い。</p> <p>(8) 乾物収量は3か年平均で113%の多収を示す。</p> <p>(9) 育成場所（山梨県）における出穂始期は5月30日で4日早く、本県では「晩生の早」に属する。</p>		
期待される効果	粗飼料の安定生産に資する。		
普及上の注意事項			
問い合わせ先（電話番号）	畜産研究所 酪農飼料環境部（0175-64-2791）	対象地域	県下全域
発表文献等	平成27年度 東北農業試験成績・計画概要集 畜産研究所研究報告（予定）		

【根拠となった主要な試験結果】

表 1 生育特性

(平成17～20年 青森畜産研)

形 質	品 種 名		備 考 (評点法)
	ヤツユメ (八ヶ岳T-24号)	ヤツユタカ (標準品種)	
発芽の良否	8	8	1 (極不良) ～ 9 (極良)
定着時の草勢	7	7	〃
越冬性	6	6	〃
早春の草勢	6	6	〃
越夏性	5	5	〃
秋の草勢	5	5	〃
秋の被度	66	69	%
再生草勢	7	7	1 (極不良) ～ 9 (極良)
草丈 (1 番草)	38	31	cm
草丈 (2 番草)	38	32	〃
草丈 (3 番草)	41	38	〃
草丈 (4 番草)	36	32	〃
草丈 (5 番草)	40	35	〃
草丈 (6 番草)	29	25	〃

- (注) 1 発芽良否及び定着時草勢は平成17年秋の調査。
 2 越冬性、早春の草勢、越夏性、秋の草勢、秋の被度及び再生草勢は平成18～20年の3か年平均。
 3 草丈 (1 番草～4 番草) は平成18～20年の3か年平均。
 4 草丈 (5 番草～6 番草) は平成19～20年の2か年平均。

表 2 利用年次別乾物収量 (kg/10a)

(平成18～20年 青森畜産研)

品種名	利用 1 年目 (平成19年)	利用 2 年目 (平成20年)	利用 3 年目 (平成21年)	3 か年平均
ヤツユメ	691 (103)	666 (122)	640 (103)	666 (113)
ヤツユタカ (標)	671 (100)	547 (100)	542 (100)	587 (100)

(注) () 内は標準品種を100とした指数。

耕種概要

項 目	内 容
試験場所	畜産研究所内圃場
播種期	平成17年9月9日
播種方法	播種量：ヤツユメ2.0kg/10a、ヤツユタカ1.85 kg/10a、散播
施肥量	土壌改良資材：炭カル300kg/10a、20%ようりん125kg/10a 基肥：N-P ₂ O ₅ -K ₂ O=5-5-5kg/10a 追肥：(早春) N-P ₂ O ₅ -K ₂ O=3-2-2kg/10a、(6月中旬) N-P ₂ O ₅ -K ₂ O=7.5-5-5kg/10a、 (8月上旬) N-P ₂ O ₅ -K ₂ O=4.5-3-3kg/10a
刈取期	1 番草：「ヤツユタカ」の草丈30cm程度で一斉刈り 再生草：「ヤツユタカ」の草丈30cm程度で一斉刈り